

# 一般質問(要旨)

鈴木 えつお

## 障害者自立支援法への対応について

**問** 障害者自立支援法が国会で審議されているが、関係者から不安の声が出ている。

**答** ①この法案をどのように受け止めているか。②サービスの利用料金が応能負担から1割の定率(応益)負担に変わるが、例えばホームヘルプサービスはどうなるのか。③障がい者の生活実態を踏まえて国に対し、応益負担の導入に反対するなど働きかけを強めてほしいが。

**答** ①障害者福祉サービスの一元化が図れ、利用の手続き、基準が透明、明確になった。この点は評価できる。応能負担から応益負担になるので、低所得者対策が必要と考える。②介護報酬が確定していないが、現在の報酬単価で身体介護の場合1時間4000円、その1割負担で1時間400円となる。③国会審議の動向等状況を見て対応する。

## 安全で豊かな学校給食をめざして

**問** 朝食をとらない子どもたちが小学校5年生で16%、中学校2年生で20%と増えている。①食教育推進のため栄養教諭制度が導入されたが、どうなっているか。②学校給食は「食への」という体験を通して日本の食文化を学ぶ大切な食教育の場。地場野菜の取り入れはどうか。③中学校は人生で最大の発育期。中学校給食を早期に実現してほしいが。

**答** ①法改正を受けて本年4月1日から施行されたが、東京都では配置の具体的動きはまだない。②本年は7軒の農家と契約して地場野菜を取り入れている。収穫期と献立の合致など課題はあるが、生産者と交流をふやし拡大していく。③食堂を使ったランチと弁当給食の併用によるスクールランチ方式で実施の考え。平成20年に弁当部分をまず実施したい。

## 交通安全対策について

**問** 「仕事が終わりに狛江駅に帰ってきたときに、ゆったり家路につきたいのに、南口は改札を出てすぐ車道があり、車に気をつけて歩かなければならない。車の交通規制ができないのか。」という住民の声がある。こは特に朝夕、車の通行

がそれなりにあって、通勤・通学の人と車が交差して危険な状況にある。何らかの交通安全対策が必要と思うがどうか。

**答** 現在、側道には狛江駅前してあり停止線も引いてあり注意喚起をしている。駅前には、インターロッキングの色分けだけで車歩道を分離していないのは逆にドライバーの注意を促す効果を狙っている。側道を朝・夕の時間制限にして通行止めにするのは難しい。今後注意看板設置等を考える。

田岡 恭子

## 介護保険制度改革と介護保険について

**問** ①制度が始まって5年目の見直しに入っているが、新予防給付は、地域支援事業など狛江市の見直し作業はどのように進められているのか。②予防給付(要支援・介護度1)の対象となる人は何人位か。③厚生労働省は、要支援はすべて予防へ、介護度1については判定をするという基準は。④事業計画見直しに当たって市民の意見反映は。

**答** ①保険料は、厚労省の政令等を待って見直してい

く。基礎調査を踏まえ介護保険推進市民協議会で介護予防・整備等慎重に協議している。②要支援・要介護1の認定者1074人のうち843人程度。③制度適用が困難な方、脳卒中等病状や心身の状況が安定しない方を除く。④一般市民、利用者等から広く意見を聴く機会を設定していく。

## 狛江市の行政サービスについて

**問** ①強い市民要望で始まった休日夜間窓口の開設は、利用者が少ないため、改善し試行を行うと報告されているが、その後の休日夜間窓口の開設状況と考え方について。②今まであったサービス、各駅の売店や4地域センターでの住民票の写し、市役所の宿直室でのサービスの時間のPRの充実で市民要望に答えることができるのではないか。

**答** ①利用実績を踏まえ、しばらく本格実施を見据えた試行とし、毎月最終日曜日の午前9時から午後1時まで、水曜日の夜間は中止を考えている。②電話サービス等については、自動交付機等も含めたサービスの充実を検討し、PRに努めていく。

西村 あつ子

## 少人数学級の早期実現を

**問** ①全国では少人数学級が進んでいるが、東京都は非常に遅れている。文部科学省でも1学級40人の編成基準の引き下げ検討を始めたが、どのような考えか。②教育委員会での意見交換の状況は。③仮に1クラス30人にした場合、小・中学校の1・2年生は何クラス増えるのか。④加配教諭の弾力的な運用は。少人数学級の期待できる効果は。

**答** ①中教審の動き等から何らかの改正等が行われるのではないかと要望している。②いろいろな角度から話し合っている。③単純計算で小学校1年が6学級、2年が5学級、中学校1年が4学級ふえる。④弾力的運用の範囲は不明。学級経営に余裕が出てきたり、子どもと触れ合う時間の増、校内組織活動の豊富化等が期待できる。

## 子育て支援について

**問** ①小児初期救急診療は水曜日休診であるが、是非実施してほしい。②ママパパ学級の改善を求めたが、どのような改善がされたのか。③乳幼児医療費の助成は、仮に東京都が所得制限を撤廃した場合、さらにどこまでの拡大が可能か。④児童保育所の午前中開放の評価は。⑤是非他の学童へも拡大してほしい。

**答** ①医師会及び実施医療機関へ事業の協力をお願いしていきたい。②父親の参加による身近な話題を取り入れるな

ど、妊婦に関心のある事業の内容とした。③17年度は拡大は不可能、18年度は小学校1学年まで可能。④利用者がふえているし、相談件数もある。⑤17年度は試行実施。評価をして今後検討。

藤田 鋭

## まちづくりについて 絶対高さ制限・最低敷地面積規制の導入を

**問** 今後のまちづくりにおいて、マンション建設での紛争などを考えた場合、現在の斜線規制型の高さ制限しかない地域に絶対高さ制限を設けることが必要だ。また、ミニ開発を規制して、良好な住宅開発を誘導するために最低敷地面積規制も必要だ。第1回定例会でも取り上げたが、今日までの検討状況はどうか。また既存不適格となる場合への対応はどうか。

**答** 敷地面積最低限度については、第一種低層住居専用地域への導入を検討している。絶対高さ制限については、第一種高度地区及び第二種高度地区への導入を検討している。敷地面積最低限度は100㎡を、絶対高さ制限については、20m、25m、30mの3種類を設定することで検討している。現在、既存不適格の対応を検討している。

田辺 良彦

## 狛江駅・喜多見駅の早朝無人化について 小田急に要望を

**問** 昨年5月から狛江駅で、今年5月からは喜多見駅でも、朝の時間帯駅係員が「無人」になっており、住民から不安の声が上がっている。狛江市内の唯一の鉄道路線であり、市民の多くが利用している駅が、最も乗降客の多い時間帯に無人になっている現状は、市民の安全と利益にとって看過できない。狛江市として小田急に要望してほしい。

**答** 始発から午前7時30分までが無人となっており、ご指摘のような問題もありません。小田急電鉄に再考をお願いする要望書を提出する。

## 指定管理者制度について

**問** スポーツ振興審議会の答申で、市体育施設の管理・

運営について、指定管理者で、この答申があったが、この問題は指定管理者制度の趣旨の一つである、サービスの向上をどう図っていくのか、という点を基本に考える必要がある。答申を受けて今後どのように対応していくのか。また、既に委託している市民ホール(エコルマ)についてはどうするのか。

**答** 答申の趣旨に従って指定管理者制度の導入を進めていきたい。導入に向けて先進市の視察、他の自治体の情報収集等を行い、条例等の手続など十分見極めながら対応していきたい。市民ホールは既に文化振興事業団に管理を委託しており、指定管理者の選定手続を進めていくことで考えている。